



施策 自然との共生

目指す
状態

豊かで魅力ある自然環境を未来にわたり守り、
都市と自然が調和するまちをつくります。

1 施策の現状と課題

- 本市は、利根川や利根運河、手賀沼といった豊かな水辺空間を有するとともに、北総台地に位置する地形上の特徴から「谷津」が存在し、斜面林や湧水、谷津田を一体とした「里山」には、多くの生き物が生息する貴重な自然環境が残っています。しかしながら、都市化の進展や里山整備等の担い手不足から、こうした自然環境は減少傾向にあります。
- 都市と自然が調和するまちを目指すためには、積極的に自然を取り入れたまちづくりや現状の緑地の保全や維持管理が必要です。

2 施策の現状と課題

- 私たちは水や空気、食料や薬の原料をはじめ、様々な生物多様性の恵みを受け取っています。しかしながら、開発行為の進展や地球温暖化による気候変動、外来種の持ち込みなどにより生物の多様性は失われつつあります。
- 緑地や生き物の保全は、生物多様性の保全へとつながり、気候変動の抑止へとつながります。環境に配慮した生活を送ることが、日々の暮らしを守り、未来の暮らしを豊かにすることを、広く市民へ啓発していくことが求められています。

3 施策の現状と課題

- 手賀沼はかつて全国で最も水質汚濁の進んだ湖沼であり、近年、水質は大幅に改善したものの、環境基準の達成には至っていない状況です。
- 本市には大気汚染の発生源となる大規模な工場等は少ないものの、主要幹線道路が市内を通過しているため、自動車の排出ガスの影響が懸念されます。
- 河川・地下水の水質浄化、大気・水質・土壌等の汚染防止など、環境リスクを低減させていくことが求められています。

●主な関連部門計画 ● 柏市環境基本計画(第三期) ● 柏市生きもの多様性プラン(令和4年4月改定)



施策の方向性 水と緑の保全・活用を推進する

豊かで魅力ある自然環境を後世に残すため、市民やNPO、関係機関と協働し、水と緑の保全活動を推進します。また、本市を特徴付ける重要な自然環境に対して、重点的な自然環境の保全、維持管理を図ります。

手賀沼や利根川などの水辺の保全に関しては、国・県・流域自治体等の連携を深めるとともに、豊かな水辺空間を生かし、市民の憩いの場、エコツーリズムの拠点としての活用を図ります。

施策の方向性 生物多様性の保全を図る

生物多様性を守り、育てるため、自然環境の保全・再生に取り組むとともに、本市の生態系の調査を実施します。また、本来の生態系を保全するため、特定外来生物等については必要な防除対策を進めます。

生物多様性の必要性や保全の取組について、市民や事業者等の啓発を行い、保全・再生の活動を活発にするとともに、市民・市民団体、大学、企業等の多様な主体との連携により取組を推進します。

施策の方向性 大気・水質などの環境対策を推進する

手賀沼の水質を改善するため、関係自治体やNPOと連携し、さらなる水質浄化対策に取り組めます。また、大気・水質・土壌等の環境監視や事業者等への指導により、環境リスクの低減を推進します。